



JAM東海岐阜県連総会で講演

日頃は議員活動に、ご協力いただきありがとうございます。2023年度の桑名市予算が公表されました。人口減少対策、消防庁舎再編整備、多度小中一貫校整備などに重点配分した新年度当初予算案は、一般会計では前年度比**3.2%**

増の543億6,734万円で過去最大規模となりました。歳出では、子ども応援手当、子ども医療費助成制度拡大など人口減少対策に前年度比で約5億円増の13億4,400万円が計上されました。その他、防災力強化、スマート自治体への転換、安定した財政基盤確立の3本柱と重点プロジェクトを中心に「ひとのにぎわい」や「まちの活力」があふれる持続可能なまち「桑名」への発展につなげる事業が積極的に盛り込まれた当初予算案を「**桑名の将来へ種をまく挑戦予算**」と命名。この重要な予算案も3月23日に可決させていただきました。73号では、市議会定例会で中小企業・小規模企業支援の一般質問をさせていただきましたので報告と個人の活動報告をさせていただきます。

第1回定例会で中小・小規模企業支援について質問

2023年第1回市議会定例会で一般質問しました。

中小企業・小規模企業支援策についての質問を中心にご報告させていただきます。

(1) 桑名市としての理念条例「中小企業・小規模企業振興条例」制定の考えについて

三重県の「中小企業・小規模企業振興条例」が桑名市内の企業の皆さんに十分周知されているのか少し疑問に感じています。この条例では『実態調査・基本条例・産業振興会議』の3つの柱で進めることが最も重要で、特に、産業振興会議などで中小企業振興関係者がPDCAを確実に回すことで、基本条例を生かしていくという基本的な考え方を大切にしなければなりません。県道の整備が遅れ、住宅街を走る市道が産業道路化している現状では、県の企業に対する支援が十分なのか疑問です。

●市の回答(抜粋)

「中小企業・小規模企業振興条例」とは、自治体の中小企業・小規模企業振興の基本方針、施策の基本方向、自治体の責務、中小企業者・小規模企業者や住民などの役割などの理念的な事項を中心として規定する条例であり、全国の都道府県および市町村で制定されています。この条例が制定される背景として、中小企業基本法および小規模企業振興基本法が存在が挙げられます。市内の事業者のうち98%強が中小企業・小規模企業が占める桑名市においては、中小企業・小規模企業の皆さんが地域の雇用や経済を支えている重要な存在であることは間違いありません。**本市としても、地域の中小企業・小規模企業を重視し、その振興を推進していくために、早い段階で中小企業・小規模企業振興条例が制定できるように取り組んでいきます。**

一答弁に対する私の思い—
今回、市長・産業振興部長より答弁をいただきました。三重県では制定されていますが、市町村ではまだ制定されておらず、県内初の条例制定となります。市長から「中小企業・小規模企業振興条例は制定する」と答弁をいただいたので、ぜひ地域独自の施策に結びつけ、市の中小企業・小規模企業を支え、桑名市の発展に寄与してほしい。



市内の企業様の職場

(2) キャッシュレスキャンペーンの検証とこれからの中長期の支援策について

先日、ある企業の役員からキャッシュレスキャンペーンの検証結果の資料をいただきました。コロナ禍(災害)ということで緊急対策でのキャンペーンであったと思います。今後もどのような事象が発生するかわかりません。今回の即効性のある経済措置の検証や中長期の支援策について教えてください。

●市の回答(抜粋)

昨年12月に実施したキャッシュレスキャンペーンについては、世界的な原油価格および物価の高騰に影響を受けた地域の事業者からの要望を受け実施しました。速報値ですが、総決算額は11億4千万円余、総還元額は2億3千万円余、キャンペーン前月に比べて、決算額は前月の約4.8倍となっており、物価上昇の影響を受ける市内事業者の皆さん、市民の皆さん双方に対する経済対策として大いに効果があったと考えます。今後も経済対策については、必要な時期に必要な施策を行ないます。

(3) BCP(事業継続計画)を策定するうえで、高台移転に対する支援について

後援会活動のなかで企業訪問をさせていただきました。そのなかで小規模企業の場合、BCPを策定するにあたり、どうしても自然災害時の対策として高台に移転したいが、土地が大きすぎるという要望を受けました。このような企業への支援はどうしていくのか教えてください。

●市の回答(抜粋)

近年BCPの観点から、大雨・津波などによる浸水被害を避けるため、事業所を高台へ移転したいというニーズが高まっています。企業等誘致促進条例に該当する移転であれば、条例の規定に基づき、立地奨励金を交付することができます。多度南部地域では現在も工業団地の造成工事や計画が進められているところでもあり、企業立地ワンストップ窓口である商工課にご相談いただければ、お話を伺ったうえで、事業者の斡旋、情報提供を行なうことは可能です。お気軽にお声かけください。

4期目スタートでの活動報告

●東汰上コミュニティバス停移設完了

2021年6月に東汰上自治会よりコミュニティバス停の移設要望をいただきました。

最近の蛸塚益生線の交通量は増加傾向で、利用者も横断歩道が無いところを渡ってバス停に行きます。

移設前の写真をご覧ください。非常に危険な場所に設置されていたので、桑名市の交通会議を経て

2023年1月に移設完了しました。新しい橋を利用したバスルートになりました。



移設前(交通量が多い道路沿い)



移設後(西へ70mほど移動) 東汰上地区内

●国道258線の坂之下交差点部分の隅切り改修工事が完了

2022年の第1回定例会で質問させていただいた箇所です。

多度方面に向かう車線から陽だまりの丘に向かう交差点で、隅切りが無いため左折しにくい状況でした。

一般質問では、道路ストックをはじめとする短期的な改良により、効果を発揮するものについても随時検討を進めてもらいたいと訴えていました。

国道ですが、改修工事は滞りなく終わることができました。



新設されたガードレール



左折しやすくされた縁石